

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 阿久根市立大川中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒899-1741
鹿児島県阿久根市大川 8250 番地

E-mail : nagai@gamail.city.akune.kagoshima.jp

Website : http://www.school.city.akune.kagoshima.jp/ookawat/

児童生徒数：男子 6 名 女子 17 名 合計 23 名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) シルバーフレンド活動

この活動は、地域の高齢者の方々との交流活動を行い、地域社会の様々な実情に関心をもったり生きる知恵を学んだりすることを通し、郷土を愛する態度や高齢者を敬う気持ちを育成することをねらいとして行われる。今年度は初めて校区内から多くの高齢者の方々に学校へ集まっていただけ（昨年度までは生徒が直接各地区の公民館に出向いて交流）、一緒にグラウンドゴルフを行い、その後、本校の目標である「人前力」を発揮する場として、生徒たちが出し物を披露する時間を設けた。グラウンドゴルフでは高齢者と会話しながら楽しそうにプレイし、交流を深めることができた。また、出し物として体育大会で行ったソーラン節・応援演舞、英語弁論などを堂々と疲労することできた。

また、活動終了後には生徒がお礼状を作成し、参加していただいた高齢者一人一人に送付した。さらに年末には活動時の写真をカレンダーにして配付した。なお、活動に関わる経費は、市の「あくねっ子事業」の助成金を活用した。

【生徒の感想から】

- 昨年の反省をもとに、積極的に話しかけ、出し物も堂々と発表することができた。グラウンドゴルフで色々なことを教えてもらえて嬉しかった。
- 今年はいつもとは違い、学校に多くの高齢者の方々に集まっていただけ、グラウンドゴルフを楽しんだり、ソーラン節などの発表をすることができた。昨年までより多くの方々と交流できたことが一番良かった。



ふれあいグラウンドゴルフ



ダンス発表風景

(2) 大川CT (OOKAWA Creative Time)

「大川CT」とは総合的な学習の時間のコース別学習であり、以前から実施されているが、一昨年度よりESDの視点をより明確にしたコース開設を行っている。本年度のコースは、生徒の希望をもとに、次の3コースが開設され視点に沿った活動がなされた。

【「大川学」コース】 → 大川の歴史や自然環境について調べるコース。

【ミュージックコース】 → 音楽を通して自分の思いを表現するコース。

【創作表現コース】 → 環境問題や人権問題、平和に関することなどを劇やダンスなどのパフォーマンスで表現するコース。

この活動成果を11月に行った「大川小中合同文化祭」にて発表することができた。



創作表現コース
ダンス発表風景



ミュージックコース
器楽演奏風景

(3) ボランティア活動

ア ペットボトルキャップ収集

本校では生徒会活動として伝統的に行ってきた。キャップ860個を集めてボランティア団体に送ると、1人分のポリオワクチン代20円となる。

本校は平成26年4月までの累積送付数が58,876個、68人分のワクチン代を集めている。本年度は、学校だより等で地域にも呼び掛け、4月から2月までに約52,400個を収集することができた。累積で言えば、約110,000個、ワクチン代として約127人分を集めたことになる。これを収集せずそのまま燃やしたとすると、二酸化炭素806kg分となる。環境問題としても考えることができる活動となっている。

イ 廃油石けん作り

この活動は今年で10年目であり、生徒会保健部の活動の一つとして位置づけて行っている。各家庭から廃油を集め、エコ石鹸を作り、その活動内容を広幅用紙にまとめ、文化祭にて活動発表及び作成した石鹸を配布している。使っていただいた感想も大変好評であった。

本年度は、10月に行われた出水地区振興大会にて、このペットボトルキャップ収集と廃油石鹸づくりを含む「ユネスコスクールとしての取組」について発表することができた。



ペットボトルキャップ
個収集達成！！



廃油石鹸作り

(4) 「いじめ問題を考える週間」道徳の時間の授業公開

本年度も、9月に各学年一斉に道徳の時間を保護者に公開することができた。この授業を通して「いじめは絶対に許さない」という気風が学校全体で高まった。また、この授業後に「いじめ問題を考える標語」を生徒会で募集し、全校生徒が作成した。その中で特に秀でたものについては、校内表彰し、学校内に掲示した。



1年生授業風景



2年生授業風景



3年生授業風景



いじめ標語募集案内
生徒会本部よりお知らせ

(5) ユネスコ新聞の発行

本校では学校便り「大川魂」を月に一度発行し、校区内の全世帯及び同市内の全学校を含む各教育機関に配布している。今年度からその裏面に生徒会本部が中心となり作成した「ユネスコ新聞」を掲載し、学校で行っている様々な活動の紹介やボランティア活動への参加呼びかけなど、多くの方々へ発信している。



『学校便り』 及び 『ユネスコ新聞』

2 活動時間について（下記から選択して下さい。）

■ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

■ 時間外活動の時間を使用

□ ユネスコクラブの活動として実施

□ その他（

）